



品川 信義 議員

品川 暗渠排水希望面積の調査結果は。

農林商工課長 希望面積は約188haである。

品川 当事業に対する考えは。

農林商工課長 補助事業での施行が絶対要件であり、国の緊急整備事業を活用する方向で検討している。補助事業が活用できれば、受益者負担12・5%。施行開始は21年度以降となる。

品川 税金滞納徴収の現状は。



平山 精一 議員

平山 地球温暖化対策として、太陽光発電の公共施設設置について。

町長 住民啓発の面からも、国の補助制度等も勘案しながらやっていく必要がある。

平山 オンリーワン事業の計画は。

収入役 大刀洗平和記念館は21年3月完成、展示工事完成後10月開館予定。予算的には10億円程度。

企画政策課長 ファーマーズマーケットは21年4月開店予定、予算は5億5千万円。

納税推進室長 訪問件数が441件、10班にわかれて274世帯で面談が出来た。12月の3回目の徴収成果は68万1千円である。

品川 大刀洗平和記念館建設費について。

町長 経費は節減しながら、10億円程度で完成出来ると考えている。

品川 年間の維持管理費及び入場者見込みは。

収入役 維持管理費は3千2百万円程度。入場者は10万人を目標にしているが、6万1千人で採算がとれる。

品川 集客増の方策は。

収入役 認知度が20%と低い。平和記念館を支えるボランティアの会等も立ち上げる必要がある。

平山 本年の農家の麦の収支についての見解は。

農林商工課長 本年からの品目横断的経営安定対策の導入により、非常に悪くなった。

平山 農家を取り巻く環境は国によって翻弄されている。基本的に町独自の農業振興計画を作るべきと思うが。

農林商工課長 集落営農組織を中心に支援していきたい。

平山 小作料の改定に対する考えは。

農林商工課長 町の思いとしては今日の米価や麦価を勘案すれば減額に向けた見直しを望んでいる。



川上 康男 議員

川上 厳しい財政状況の下、来年度のまちづくり計画の重点施策は。

町長 来年は二つのオンリーワン事業・三輪中学校建設・上下水道等のハード事業があり、職員の意識改革を求めながら、今までの延長ではなく、一つ一つゼロから見直す意識でやっていく。健全財政は無視できず、二律背反をどう求めているか議員の議論をいただきながら今後進めていく。

川上 多目的運動広場建設の考えは。



梅田 美代子 議員

梅田 ボランティアに対する考えは。

副町長 各課で実態調査し構想を立てたい。窓口は一本化の方向。今回若干ハード面整備をし、三輪地区はシルバー人材センターあるいはその2階。夜須地区は社会福祉センターを早急に整備したい。

梅田 介護保険とボランティアを組み合わせた仕組みの導入は。

福祉課長 広域連合として実施の方向で動いていくと聞いている。

梅田 地域通貨の導入は。

副町長 地域活性化に使える手段で

都市計画課長 野球場・サッカー広場・ちびっこ広場を計画。規模は8ha程度で小限南西地区に、総事業費8億円程度で計画。

財政課長 8億円の内4割は国庫補助、残りは特例債を借入れ、グラウンド売却基金5億円の中から1億6千万円を使わせていただく。

川上 荒廃している下高場・四三嶋地域等(畑・梨園地)の周辺整備は。

企画政策課長 一部は工場誘致地域として活用したい。3月までには計画をまとめていくが、民間の活力をいかす視点でまちづくりを考えていきたい。そのためのインフラ整備、道路整備等が必要と考える。

はないかと思っている。

梅田 寄付条例の導入は。

財政課長 近隣の動きを考慮しながら検討したい。

梅田 子ども条例制定はプロセスが大事である。手順・時期は。

こども未来課長 プロセスは大事と思っている。目安として来年9月制定予定である。

梅田 特別支援教育の学校現場での取り組みは。

教育長 担任以外で特別支援教育支援員を6人配置している。校内にコ

ーディーネーターを作り、校長を中心に特別支援教育推進委員会を立ち上げており、その中で充実させていきたい。